

# NEWS LETTER Vol.1

## 第2回 ワーキンググループの内容を報告します！

今回は「元町駅周辺の課題とポテンシャル」について議論しました。

### 開催概要

■日 時： 2026年1月28日（水）10：00～12：00 ■場 所： サンセンタープラザ西館 貸会議室  
■参加人数： 25人

### プログラム

1. 第1回のおさらい
2. 駅前空間再整備事例のご紹介（大阪公立大学大学院 嘉名教授）
3. 元町駅周辺エリアの現況分析説明
4. ワークショップ（テーマ：元町駅周辺の課題とポテンシャル）
5. 学識経験者からの講評

## ワークショップでいただいた「課題」「ポテンシャル」のまとめ（地図版）

たくさんご意見をいただきました。いただいたご意見の一部を紹介します。

赤：課題 青：ポテンシャル



### 会場の状況



# ワークショップでいただいた「課題」「ポテンシャル」のまとめ(付箋版)

たくさんご意見をいただきました。いただいたご意見の一部を紹介します。

課題

ポテンシャル

## 駅前広場

- 駅前の広場やビルが汚い
- 交番の場所が悪い
- 案内機能が不足していて迷う人が多い
- 階段ベンチがあることで視認性が悪い
- 喫煙所や駐輪場のスペースが多すぎる
- 駅前広場はスペースが少ない

## 駅・高架下

- 南北エリアを分断している
- 新快速が停まらない
- 高架下が暗い、汚い
- 阪神の駅が分かりにくい、東口の階段が長い
- JR 元町駅 東口の北側入口が暗い
- モトコーの利活用

## 駅周辺

- 南北の動線が弱い(避離ルート)
- JR 西口から北側への階段が長い
- 日陰や緑が少ない
- スポットが点在しているが、「線」として繋がっていない
- 元町駅前のスクランブル化
- 県庁建替で新たな顔ができる

## 人・コミュニティ

- 住民同士が交流できる新規イベントが少ない
- 近所づきあいが減っている
- こどもの遊び場が少ない
- 駅前を管轄する「まちづくり団体」がない
- 様々な世代の人がいる
- 昔ながらの個人商店などおもしろい店舗

## 元町らしさ

- 近いところに山と海がある
- レトロとモダンが共存している
- 歴史と文化がある
- 生田中学校や兵庫県公館の周りなどには緑が多い
- 街がゴチャゴチャしている
- ブランドショップなど高級なイメージ

## にぎわい

- 夜の駅前が寂しい
- 大丸・商店街など、商業の集積がある
- 経済・商業・エンタメ全部ある
- ライトアップなどの演出可能性
- 夕方以降の南京町の賑わい
- 商業と生活が共存している

## 交通

- 許可されていない観光バスの駐車が多い
- 元町駅前にループバスが止まらない
- タクシー乗り場が分かりづらい

## 観光

- ウォーターフロントとの連携ができていない
- 港や観光資源へのアクセスがよい
- 様々なスポット(中華街・港・商店街・県庁)

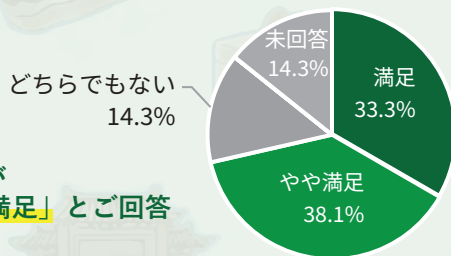
## その他

- 歩きたくなる仕掛けがほしい
- コンセプトがほしい
- 目的がなくても来なくなる街にしたい

## アンケート結果

### ■ ワーキンググループの満足度

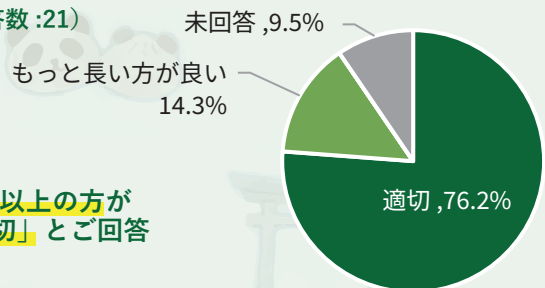
(回答数 :21)



7割以上の方が「満足」「やや満足」とご回答

### ■ ワーキンググループの長さ(120分)が適切か

(回答数 :21)



7割以上の方が「適切」とご回答

### ■ アンケートでいただいたご意見

#### 〈ワーキンググループ運営について〉

- 元町駅周辺エリアの現況分析が資料としてあったのが良かった。
- 課題担当者とは今後の予定も含めて一緒に議論がしたい。

#### 〈駅前再整備について〉

- 三宮と違って元町らしい雰囲気を残してほしい。
- 神戸特有の坂を上って山手エリアに住むといったステータスを感じるまちづくり。

#### 〈参加者側の議論について〉

- 「自分の街がどう」より「神戸や元町にとって、駅周辺がこう変わって欲しい。」という広い目線で話せば、もっと建設的な議論になると思う。
- 非常に楽しく意見交換ができた。ファシリテーターの方の誘導も良かった。
- 問題点や要望はかなり集約されていて、新しい意見が少ない。
- テーマを事前に開示しておいてほしかった。
- もう少し具体的な話題提供をしてもよい。参加者に対して負担のないレベルの宿題のようなものがあったらいい。

お問い合わせ先

神戸市都市局 都心再整備本部都心再整備部都心三宮再整備課  
メールアドレス : motomachi-saiseibi@city.kobe.lg.jp